



令和2年度第4回理事会（11月13日）

吉田理事長が議長となり、報告事項として「公益社団法人日本水道協会の会務」について説明した。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「公益社団法人日本水道協会第97回総会の運営」、第2号議案「会員の入会」が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり決定した。



第97回総会（11月13日）

第97回総会が、日本水道協会においてWEB会議システムを併用し開催された。

開会にあたり、日本水道協会を代表して吉田理事長から挨拶があった。

続いて、本年度の日本水道協会会長表彰について受賞者名簿をもって報告した後、定款の定めにより大久保横浜市水道事業管理者が議長となり議案の審議に入った。

まず、第1号議案「公益社団法人日本水道協会役員の選任」について事務局より説明があり、審議の結果、原案のとおり東京都公営企業管理者の浜佳葉子氏を新役員に決定した。

続いて、第2号議案「会員提出問題」について討議が行われた。

始めに『I. 防災・減災、国土強靱化』の東日本大震災関係として、問題1「東日本大震災に係る水道施設の災害復旧事業等における人的支援の強化について」、問題2「放射性物質に係る対応の推進及び東京電力福島第一原子力発電所の事故を原因とする損害賠償について」、災害対策関係として、問題3「水道施設の災害対策に対する行財政支援等について」、問題4「防災・減災、国土強靱化のための持続的かつ安定的な財政支援について」、問題5「水道事業における電力確保対策等について」がそれぞれ上程され、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。



総会の様子



本協会代表挨拶：
吉田理事長



議長：大久保横浜市
水道事業管理者



第2号議案「会員提出問題」の様子



行政施策説明：
熊谷厚生労働省医薬・
生活衛生局水道課長



行政施策説明：
乾総務省自治財政局
公営企業経営室長

次に、『Ⅱ. 水道の基盤強化』の新型コロナウイルス感染症関係として、問題6「新型コロナウイルス感染症による影響に係る水道事業経営への支援について」、補助関係として、問題7「水道事業に対する財政支援の拡充及び要件の緩和等について」、問題8「水道施設の更新・再構築事業に対する新たな財政支援体制等の確立について」、問題9「簡易水道事業統合等に対する財政支援について」、問題10「再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進に向けた柔軟な制度運用について」、起債・繰出関係として、問題11「起債融資条件の改善及び地方公営企業繰出制度の拡充等について」、問題12「公的資金補償金免除繰上償還制度及び公営企業借換債制度の復活について」がそれぞれ上程され、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。

次に、『Ⅲ. 安定・安全の確保』の水源関係として、問題13「水源施設の開発促進等について」、問題14「水利権制度の柔軟な運用について」、問題15「既存ダムの洪水調整機能強化に向けた基本方針への対応について」、問題16「特定多目的ダム供用開始後に要する利水者負担額の軽減について」、水質関係として、問題17「水道水源における水質保全対策及び水質事故の発生防止の強化等について」がそれぞれ上程され、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。

最後に、『Ⅳ. その他の重要事項』として、問題18「地下水利用等による専用水道に係る法整備及び対応について」、問題19「配水管等の耐用年数の見直しについて」、問題20「電磁式を含む水道メーターの検定有効期間の見直しについて」、問題21「塗膜に含まれる低濃度ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の処理等について」が上程され、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。

続いて、行政施策説明として、熊谷厚生労働省医薬・生活衛生局水道課長から「水道第四世代の創生 水道事業の現状からの『水道基盤強化の具体化』」について、乾総務省自治財政局公営企業経営室長から「水道事業経営の現状と課題」について説明があった。

水道技術管理者資格取得講習会（東京会場第1回：9月24日～10月14日、
東京会場第2回：9月28日～10月16日、
大阪会場：10月8日～10月28日）

水道法施行規則第14条第3号による登録機関として、東京会場第1回：50名、東京会場第2回：35名、大阪会場：41名の参加を得て、「水道行政・水道経営」、「水質管理・公衆衛生・衛生管理」、「水道基礎工学概論」、「水道施設管理」について15日間の学科講習を実施した。

なお、学科講習修了者は、この後に「水道施設の技術的基準を定める省令第5条」に適合する、汙過設備を有する水道施設において15日間の実務講習を行う。

令和2年度第2回運営会議（10月16日）

本協会の吉田理事長が議長となり、報告事項1「令和3年度水道関係予算の概算要求」について、厚生労働省、総務省から説明があった後、報告事項2「令和3年度水道関係予算及び「令和二年五月十五日から七月三十一日までの間の豪雨」により被災した水道施設の復旧等に対する財政支援に係る要望活動実施状況」、報告事項3「東日本大震災被災地への復興支援」、報告事項4「地震等緊急時対応の手引き改訂に伴う周知活動等」、報告事項5「令和2年度全国会議の中止に伴う対応」、報告事項6「令和2年度水道イノベーション賞」、報告事項7「令和元年度水道賠償責任保険等の実績」について事務局から説明があった。



続いて、第1号議案「令和3年度水道関係予算の要望」、第2号議案「日本水道協会第97回総会会員提出問題」がそれぞれ上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

会議終了後、第1号議案の議決に基づき、衆議院議員会館、参議院議員会館、財務省に対し陳情を行った。

第745回抄録委員会（10月19日）

本誌1月号・2月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議を行った。

未納料金対策実務研修会（東京会場：10月21日）

水道料金徴収業務に携わる方々24名の参加を得て、未納料金対策（給水停止、支払督促等）について実務を中心とした研修会を実施した。また、受講生から事前に未納料金対策等に関する質問を募集し、それに対する解説を実施した。

なお、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、グループディスカッションは中止とした。

新任水道事業管理者研修会（10月27日）

新たに就任された水道事業管理者及び管理者を補佐する立場にある方々14名の参加を得て、研修会を実施した。

本研修会では、本協会の吉田理事長による「水道事業管理者のあり方」の他、「地震等緊急時対応の手引きの改訂について」、「水道経営と料金のあり方」、「水道事業における労働法体系並びに労務管理」について、それぞれ造詣の深い講師による講義が行われた。

なお、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、グループディスカッションは中止とした。

第26回営業業務専門委員会（10月27日）

はじめに、審議事項①として「正副委員長の互選について」を上程し、委員長に広島市水道局営業部営業課長の坂本委員を、副委員長には札幌市水道局総務部営業課長の安澤委員をそれぞれ選任した。

続いて、審議事項②として「営業業務マニュアルの改訂について」を審議し、事務局より改訂版「営業業務マニュアル（案）」の概要について、及び発刊に向けた今後のスケジュール等について説明を行った。



配管設計講習会（中国四国会場、九州会場第1回：10月28日～10月30日）

水道事業者及び設計業者等の経験が少ない水道技術者の方々58名（中国四国会場24名、九州会場34名）の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

水道料金算定実務研修会（10月29日）

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、従来実施している水道事業事務研修会（経営中級コース）を中止とし、代替研修会として水道業務に従事する事務系職員の方々22名の参加を得て、水道料金についての講義、及び料金算定に関する演習を中心とした研修会を実施した。

第989回会誌編集委員会（10月30日）

本誌11月号・12月号の編集方針、投稿原稿の査読、新規原稿の取扱い等について審議を行った。